

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜城北高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和6年2月5日（月） 13：30～15：30
- 3 開催場所 岐阜城北高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	神谷 政人	岩野田まちづくり協議会	事務局員
副会長	河野 隆	はなぞの北幼稚園	園長
委員	菊池 啓子	中部学院大学短期大学部	教授
	前田 吉彦	岐阜北ロータリークラブ	
	中村 有希	ファッションデザイナー	
	山田 和枝	本校PTA副会長	
学校側	下平 義広	校長	
	田内 俊文	教頭	
	柴田 幸美	教頭	
	高井 和子	事務長	
	車戸 祐介	教務主任	
	福島 和世	生徒指導部長	
	杉山 福美	生活デザイン科長	
	山田 千里	進路指導部	

5 会議の概要（協議事項等）

(1) 生徒による卒業発表会の報告

意見1：オリジナリティや独自性の感じられる発表であった。

意見2：SDGsへの取り組みや、自ら課題を見つけ解決していく力が養われるような取組が多かった。大人になると心が濁ったり、何かを遠慮したりするが、若いころの心を持ち続け、生き抜いてほしい。自分が学んだことに誇りをもってほしい。

意見3：岐阜城北高校で学んだこと、培ったものがあると思うが、やり抜く力、協調性、主体性があれば、どこでも生きていける。

意見4：自分が学び経験してきたことを後輩に伝え、次に生かせると良い。自ら選んで入学した高校なので、胸を張って岐阜城北高校の卒業生だと言ってほしい。

意見5：両学科それぞれのコースが3年間の集大成を発表され、とても素晴らしかった。岐阜城北高校で学んでとても良かったなどか、成長したなどと思う点があれば教えてほしい。

<回答>

- ・人に動いてほしいと思ったら、まず自ら率先して動き、それぞれをまとめることが大切であると学んだ。人をまとめる力が付いたと思う。
- ・友人と教え合いながら工夫して活動することで、頑張れる。検定挑戦を友人と競い合い、教え合いながら努力した結果、知識や技術、能力も養われ、将来に結びついた。

- ・一つのことを最後までやり遂げる力が身に付いた。失敗を重ねてあきらめそうになったこともあるが、最後までやりきることで、何かが見えてくる。日々の勉強も同じだと実感した。
- ・自ら学ぶ力が付いた。躓きもあったが、自分に合う勉強法を見つけ、分からなければ必ず質問した。今後の社会に役立つ知識を積み重ねることができた。
- ・ものの見方が変化した。人とかかわる中で、相手を深く知ることや意見を受け入れ、それを取り入れることも大事。
- ・コロナ禍でコミュニケーション不足が指摘されるが、仲間と協力し何かを成し遂げる協調性が身に付いた。

(2) 令和5年度自己評価について

- ・教務部
- ・生徒指導部
- ・進路指導部
- ・総合学科
- ・生活デザイン科
- ・その他（特別活動部、渉外部、図書部、学年 等）

(3) スクールポリシーについて

(4) 本校への提言等

意見1：子どもたちが前向きに頑張れるのは、「好き」だからである。少人数で対応し、専門的なことに大変興味をもって勉強できる。

意見2：外部の専門家の方に教えてもらうのも大切である。生徒の目の輝きが違う。友人や先生のほかに、外部の大人や子ども、地域の人との関わりは、生徒をととも成長させる。協力したいと思っているので、色々と相談してほしい。

意見3：社会人としての基礎力について、十分に養ってほしい。書く力、語彙力、生活のマナー、コミュニケーション力など、専門的な知識、技術も大切であるが、基礎力を養うことで、対人関係で躓かない。

意見4：高校生は、精神的に一番成長する時期である。社会人として通用するような基礎力を養ってほしい。

意見5：友達関係のコミュニケーションのみでなく、社会人と交流し、大人の世界の中で、考えコミュニケーションをとることが大切である。異年齢の方々との交流をしてほしい。

6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営協議会において、本校のスクールポリシーについて承認を得られた。
- ・生徒による卒業発表会の報告を行い、生徒の姿や学習内容について貴重な意見をいただいた。
- ・様々な視点の意見から改善が必要なところは速やかに対応し、今後の学校運営に生かしたい。